

社内報第5回目

2014. 7. 30 編集神崎

今回の社内報は先日から働かせていただいている私、神崎が書かせていただきます。茶道部に所属していて今年で3年目です。茶道の魅力はたくさんあり、おもてなしの心がおもに挙げられるのですが、文章に不慣れなので少し書きやすいテーマにさせて頂きます。

私が思う魅力のひとつは美の追求です。下に写真を載せさせていただいておりますが、こちらは先日に大学内で配布されたフリーペーパーの取材の際に撮っていただいた写真です。左側の写真はお点前をしている時の所作の一部で、引き柄杓と呼ばれます。この時、畳の一目単位でバランスを考えられたお道具の配置や、体の向きなど、また見た目だけではなく、お茶を点てる際の合理性なども含めて追求されたものとなっています。

右側は亭主が点てた抹茶をお客に出している瞬間です。お茶碗の佇まいや間隔など、空気感としての美しさを醸し出しています。

。。あまり言葉で表現してきたことがなかったので貧困な文章になってしまいましたすみません。。

今後、茶道の魅力をたくさんの方々を知っていただけるように、精一杯精進していきます。まだまだ未熟ですがよろしくお願い致します。

